

浜の活力再生プラン

別記様式第1号別添

1 地域水産業再生委員会

組織名	西尾地区地域水産業再生委員会
代表者名	稲垣 芳樹

再生委員会の構成員	愛知県西尾市管内6漁協（西三河、衣崎、吉田、幡豆、東幡豆、一色うなぎ漁協）、西尾市、愛知県西三河農林水産事務所（水産課）
オブザーバー	愛知県（農林水産部水産課）、愛知県漁連

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	愛知県西尾市 (人)										
	組合	所在地	正組合員数	底びき網			さし網	採貝	定置網	海苔養殖	その他
				外海底びき	内湾底びき	水流噴射					
西三河 (計)	西尾市	275	35	18	51	19	112		13	27	
栄生支所				6	37		1			2	
一色支所			34	4	14	7	82		13	7	
佐久島支所						10	11			18	
吉良支所			1	8		2	18				
衣崎			128			42	1	76		6	3
吉田			45			1	3	40		1	
幡豆			38	14	15		3	2	2		2
東幡豆			44	1	8		4	28			3
一色うなぎ			128	鰻養殖 128 (98 経営体)							

※ その他漁業は、ナマコ漁、素潜り漁、釣り、採藻漁業である。

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

本再生委員会の存する西尾市の水産業は、矢作川東側の三河湾北部沿岸で生まれ、東部の東幡豆、幡豆及び西三河漁協では、底びき網が盛んで、渥美外海及び三河湾でカレイ、シャコ、トリガイ、クルマエビ、ガザミ等を漁獲し、吉田～西三河漁協栄生支所の西部地区では、眼前に広がる広大な一色干潟でのアサリ漁業が盛んで、底びき網及び腰マンガにより、県内の約 80%（全国の約 45%）の約 6,500 トン（平成 27 年）のアサリを水揚げしている。また、海苔養殖も盛んに行われ、現在は経営体数がかかり減少したが、県内の海苔生産の約 10%（約 3.2 千万枚、平成 27 年）を生産している。さらに、一色地区では、特許庁の地域団体商標（地域ブランド）に認定されている「一色産うなぎ」の養殖が盛んであり、全国第 2 位の生産量を誇る愛知県の約 78%（約 4,000 トン、平成 27 年）を生産している。

本市は、この様に全国的にも有数な漁業・養殖業が営まれている。しかし、近年の食文化の多様化や家庭における魚料理の煩わしさによる魚の消費量の低下、安価な輸入食材の普及により魚価が低迷しており、特に、リーマンショック以降、魚価の低迷が著しい。さらに、原油価格が不安定であり、漁業者の生活は不安定な状況が続いている。このため、本市では、特に漁船漁業での新規就業者は少なく、高齢化も相まって、漁業者の減少が続いている。また、近年は、アサリと海苔養殖を兼業で行っていた漁業者が、好調であったアサリ漁業（腰マンガ）専業へ多数転換したが、15,000 トン前後の漁獲量を誇っていたアサリの漁獲量が平成 26 年以降、1 万トンを割り、その減少が顕著になっている。このため、漁業者の離職の大幅な増加が憂慮される危機的状況となっている。また、うなぎ養殖については、近年のシラスウナギ不漁による高値や飼料の高騰によるコスト増が経営を圧迫している。

(2) その他の関連する現状等

平成 17 年に管内の 6 漁協（吉良、味沢、一色、栄生、西尾、佐久島）が合併して西三河漁協が誕生し、現在の 6 漁協（東幡豆、幡豆、吉田、衣崎、西三河、一色うなぎ）となった。西三河漁協は合併後、味沢と西尾の支所を閉鎖し、今後は吉良の市場を一色へ統合する等により合理化を進めている。しかし、合併により新設した荷さばき場（鮮魚）では、合併当初に比べ、利用船が漁業者の減少に伴い、取扱量・金額ともに約 6 割に減少している。同様な事例は漁船漁業が主体の東幡豆、幡豆でも起きており、市場再編等が課題となっている。

また、本市における共同利用施設は主に、海苔網の冷蔵庫、養鰻業者への配水に使用する養鰻水道があるが、それぞれ老朽化等に起因する問題が生じている。冷蔵庫については、老朽化による修繕費等の経費の増加が問題となっている。また、一色うなぎ漁協が河川水を直接各養鰻業者へ配水する水道事業に使用している養鰻水道は、老朽化等による修繕費の増大、地震に対する脆弱性等の問題がある。このような状況から、これらの施設の新設及び集約化等が課題となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

前述の地域の現状を踏まえ、以下の課題に取り組むことで漁業者の所得向上を目指す。

1. アサリは、危機的な状況にあり、今後の立て直しが急務である。対策としては、三河湾東部の六条潟で大量発生する稚貝を漁場に大量に移植放流することが重要である。移植は、夏から秋（7月～10月）にかけて行われているが、夏場に移植することで移植後の成長が良く、翌春～初夏に漁獲サイズに達する。このように、六条潟の稚貝を最大限有効利用するため、最大の成長が見込める夏場に移植し、早期漁獲を目指す。また、有害生物の駆除等を行い、漁場環境の整備を併せて行う。
2. アサリの代替資源としてのハマグリは、近年、散見されることからこのハマグリ資源を積極的に増やすために、試験的にハマグリの種苗生産や稚貝放流をおこなう。さらに現在でも比較的多く漁獲され、安値で取引されるバカガイをむき身等に加工し、付加価値化を図ると共に名古屋圏を含む地元での認知度を高め、販路拡大を図る。
3. 海苔養殖を推進するために、漁協が海苔加工乾燥工場を建設し、漁業者が養殖した海苔をその加工場に集約し、加工を委託することで作業の効率化及び品質の安定化を図るとともに、施設への投資費用を抑えることで、一度アサリ漁業等へ業種転換した漁業者が、再び海苔養殖業に着業できるような体制を整え、漁業者の経営体力の向上を図る。
また、青海苔養殖を試験的におこなうことで、海苔養殖期間外の収入源としての検討を図る。
4. 一色地区は日本有数のうなぎ産地であるが、うなぎを地元で食べさせる店は少ない。そこで一色うなぎ漁協が生産者として、生産したうなぎをアピールするために、市内でも屈指の集客施設である「一色さかな広場」や年間10万人の観光客数を誇る佐久島への渡船場があり、市内だけでなく、市外、県外からも集客が見込める一色漁港に「うなぎレストラン」を建設することで、消費拡大を図る。加えて、佐久島や一色漁港付近でモニターツアーを開催することで、さらなる集客力の向上と地域の活性化を図る。
5. 「一色産うなぎ」養殖の特徴でもある養鰻水道は、布設から約50年以上が経ち、管と管のつなぎ目の劣化や管の損傷による漏水、そして耐震化による改修工事が必要となっている。総延長70kmと長く、莫大な費用が掛かるので、計画的に改修工事を行い、送水量の安定確保を図る。
6. 未利用資源として、近年高い栄養価から健康食品として注目されているアカモクの加工方法の確立や、地元の旅館及び民宿での提供を行い、認知度を向上させ、商品化を図る。
7. 西尾市の市場では、漁船の減少に伴う水揚げ高の減少から集約化を図るため、西三河漁協では吉良支所の市場を廃止し、一色支所の市場に統合する。また、

東幡豆漁協においても、市場を廃止し、幡豆漁協の市場への統合について検討する。将来的にはさらに統合を進め、西三河漁協一色支所の市場への1本化を目指す。水産物と仲買人が集まることで競争が一層激しくなり、単価の上昇を見込む。

8. 船底清掃やボイラー清掃、省エネ機器の導入により燃油コストの削減に取り組む。
9. 本市で海苔養殖を行っている西三河、吉田、衣崎の各組合では、海苔網の冷蔵保存のために冷蔵庫を使用しているが、各漁協とも海苔養殖業者の減少及び冷蔵施設の老朽化による経費の増大が問題となっている。海苔加工乾燥工場の建設に併せて、西三河、衣崎、吉田各組合の海苔網を保管できるよう、冷蔵庫を新設し、老朽化した冷蔵庫は廃止、撤去することにより、各組合のコスト削減を図る。
10. 一色うなぎ漁協が使用している、加工施設で製造した鰻製品の貯蔵用冷凍庫が築50年以上経ち、老朽化が激しいため、省エネのものに建て替え、コスト削減を図る。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

愛知県漁業調整規則第 35 条（全長の制限、アサリの採捕の禁止区域）

愛知県漁業調整規則第 38 条（漁具の制限）

愛知県漁業調整規則第 42 条（電気設備の制限、中型まき網）

愛知県漁業調整規則第 44 条（漁船の総トン数及び馬力数の制限）

○資源管理計画

伊勢湾海域における小型機船底びき網（まめ板網漁業）（幡豆漁協、定期休漁）

東幡豆漁協小型機船底びき網（貝けた網及びえびけた網）漁業（定期休漁）

幡豆漁協小型機船底びき網（渥美外海板びき網）漁業（定期休漁）

西三河漁協吉良支所小型機船底びき網（渥美外海板びき網、貝けた網及びえびけた網）

漁業（定期休漁）

西三河漁協吉良支所及び幡豆漁協さし網漁業（定期休漁）

幡豆漁協小型機船底びき網（改良備前網）漁業（休漁）

東幡豆漁協小型機船底びき網（改良備前網）漁業（休漁）

西三河漁協吉良支所採貝（長柄まんが）漁業資源管理計画（休漁）

西三河地区採貝（腰まんが）漁業資源管理計画（休漁）

西三河地区小型機船底びき網（貝桁網（水流噴射式けた網））漁業資源管理計画（休漁）

(3) 具体的な取組内容(年度ごとに数値目標とともに記載)

1年目(平成30年度)

漁業収入向上のための取組	<p>【Ⅰ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁】</p> <p>① アサリの漁業者団体は、早期の資源の復活を目指し、三河湾東部の六条潟で大量に発生するアサリ稚貝の漁場への移植放流を移植後の成長が最も良い夏場に集中的に行い、翌春～初夏の早期漁獲に繋げる。また、有害生物の駆除等を行い、漁場環境の整備を併せて行う。</p> <p>② 吉田漁協は、新たな二枚貝資源としてハマグリの子苗生産試験を行う。試験的に生産した種苗を放流し、その後の生残、成長を調査する。同時にアサリの漁業者団体は、ハマグリの子苗場としての保護区を設け、密漁監視を行う。</p> <p>③ 西尾市管内の漁協は、消費者の認知度が低いバカガイについての試食等のPRイベントを行い、付加価値を付けて高値で売る方法について協議及び検討する。</p> <p>【Ⅱ海苔養殖】</p> <p>① 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔養殖を希望する漁業者について調査を行い、協業化の可能性について検討及び設計を行う。</p> <p>② 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔養殖時期外の収入増として、青海苔養殖を試験的に導入する。</p> <p>【Ⅲうなぎ養殖】</p> <p>① 一色うなぎ漁協は、地域ブランド「一色産うなぎ」をアピールするために、市内でも屈指の集客施設である「一色さかな広場」や、年間10万人の観光客数を誇る佐久島への渡船場があり、市内だけでなく、市外、県外からも集客が見込める一色漁港にうなぎレストランを建設する。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、布設から約50年以上が経過し、老朽化した養鰻水道の改修工事を行う。計画的に改修工事を行うことで、送水量の安定確保を図り、漁業者の経営の安定を図る。</p> <p>③ シラスウナギの購入に、漁業近代化資金を利用し、利子補給を受け、安定的に池入れする。</p> <p>【Ⅳ未利用資源の活用】</p> <p>① 西三河漁協は、西尾市一色町佐久島及び西尾市吉良町梶島周辺に自生するアカモクについて調査を行う。また、アカモクは、消費者だけでなく販売者にも認知度が低いため、研修会を行い、商品化に向けたレシピ開発を進める。</p> <p>これらの取組みにより、基準年の漁業収入に対し、0.15%の向上を目指す。</p>
--------------	---

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【V小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁、海苔養殖】</p> <p>① 船底清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>② 漁船の機関換装等に漁業近代化資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>③ 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔網の保存のための冷蔵庫の建設について検討する。</p> <p>【VIうなぎ養殖】</p> <p>① ボイラー清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>これらの取組みにより、基準年に対し0.2%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>地場産業振興対策事業（Ⅰ－①）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ－①）</p> <p>愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ－②）</p> <p>6次産業化推進整備事業（Ⅰ－③、Ⅳ－①）</p> <p>農泊推進対策事業、農山漁村活性化整備対策事業（Ⅲ－①）</p> <p>内水面振興対策事業（Ⅲ－②）</p> <p>漁業近代化資金利子補給事業（Ⅲ－③、Ⅴ－②）</p>

2年目（平成31年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【Ⅰ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁】</p> <p>① アサリの漁業者団体は、引き続きアサリ稚貝の漁場への早期の移植放流及び漁場環境の整備を行うことで、早期の資源の復活を目指す。</p> <p>② 吉田漁協は、新たな二枚貝資源としてハマグリ種の種苗生産試験を引き続き行う。試験的に生産した種苗を放流し、その後の生残、成長を調査する。同時にアサリの漁業者団体は、ハマグリ種の母貝場としての保護区を設け、密漁監視を引き続き行う。</p> <p>③ 西尾市管内の漁協は、消費者の認知度が低いバカガイについての試食等のPRイベントを引き続き行い、地元での消費を促進する。また、付加価値化に向けて、加工技術について千葉県等の先進地を視察する。</p> <p>【Ⅱ海苔養殖】</p> <p>① 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔養殖の協業化に向けて加工乾燥工場の設計を行う。</p> <p>② 西三河、衣崎、吉田漁協は、引き続き海苔養殖時期外の収入増として、青海苔養殖を試験的に導入する。</p> <p>【Ⅲうなぎ養殖】</p> <p>① 一色うなぎ漁協は、うなぎレストランの運営を行い、「一色産うなぎ」の消費拡大及びPRに努める。具体的には、観光協会等と協力し、佐久島や一色漁港付近でのモニターツアーを開催することで、観光客の意見を取り入れ、さらなる集客力の向上と地域の活性化を図る。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、引き続き養鰻水道について年次計画に沿って改修工事を行う。</p> <p>③ シラスウナギの購入に、漁業近代化資金を利用し、利子補給を受け、安定的に池入れする。</p> <p>【Ⅳ未利用資源の活用】</p> <p>① 西三河漁協は、消費者の認知度が低いアカモクを、吉良温泉や佐久島の旅館にて提供し、PRを行う。また、一時期にしか採れないアカモクを冷凍することで、一年中加工して出荷できるような体制づくり及び商品開発を行う。</p> <p>これらの取組みにより、基準年の漁業収入に対し、0.3%の向上を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【Ⅴ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁、海苔養殖】</p> <p>① 引き続き、船底清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p>

	<p>② 漁期前に機器のメンテナンスを行うことで、早期割引を活用し、修繕費用を抑える。</p> <p>③ 操業日及び操業時間を見直すことで、燃油消費量を抑える。</p> <p>④ 漁船の機関換装等に漁業近代化資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>⑤ 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔網の保存のための冷蔵庫の設計を行う。</p> <p>【VIうなぎ養殖】</p> <p>① 引き続き、ボイラー清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>これらの取組みにより、基準年に対し0.4%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>地場産業振興対策事業（Ⅰ－①）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（Ⅰ－①）</p> <p>愛知県水産業振興基金助成事業（Ⅰ－②）</p> <p>6次産業化推進整備事業（Ⅰ－③、Ⅳ－①）</p> <p>水産業強化支援事業（Ⅱ－①）</p> <p>農泊推進対策事業、農山漁村活性化整備対策事業（Ⅲ－①）</p> <p>内水面振興対策事業（Ⅲ－②）</p> <p>漁業近代化資金等利子補給事業（Ⅲ－③、Ⅴ－④）</p>

3年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【Ⅰ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁】</p> <p>① アサリの漁業者団体は、引き続きアサリ稚貝の漁場への早期の移植放流及び漁場環境の整備を行うことで、早期の資源の復活を目指す。</p> <p>② 吉田漁協は、新たな二枚貝資源としてハマグリの子苗生産試験を引き続き行う。試験的に生産した種苗を放流し、その後の生残、成長を調査する。同時にアサリの漁業者団体は、ハマグリの子苗場としての保護区を設け、密漁監視を引き続き行う。また、吉田漁協は種苗生産施設建設について決定する。</p> <p>③ 西尾市管内の漁協は、バカガイについてこれまでのPRを踏まえ、仲買人と共に名古屋市中央卸売市場への浸透を図る。また、バカガイの加工について検討する。また、加工場の建設について決定する。</p> <p>【Ⅱ海苔養殖】</p> <p>① 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔養殖の協業化に向けて加工乾燥工場の建設を行い、平成32年漁期から稼働させる。</p> <p>② 西三河、衣崎、吉田漁協はさらに、黒海苔養殖時期外の収入増として、青海苔、アオサ養殖を試験的に行う。</p> <p>【Ⅲうなぎ養殖】</p> <p>① 一色うなぎ漁協は、引き続きうなぎレストランの運営を行い、昨年度実施したモニターツアーでの意見を取り入れ、「一色産うなぎ」の消費拡大及びPRに努める。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、養鰻水道について年次計画に沿って改修工事を行う。</p> <p>③ シラスウナギの購入に、漁業近代化資金を利用し、利子補給を受け、安定的に池入れする。</p> <p>【Ⅳ未利用資源の活用】</p> <p>① 西三河漁協は、引き続きアカモクのPR活動及び商品開発を行い、加えて、加工場の建設について検討する。</p> <p>【Ⅴ市場再編】</p> <p>① 西尾市管内の漁協は、水産物の単価上昇のため、市場再編の検討を行う。</p> <p>これらの取組みにより、基準年の漁業収入に対し、0.45%の向上を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【Ⅵ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁、海苔養殖】</p> <p>① 引き続き、船底清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p>

	<p>② 引き続き、漁期前に機器のメンテナンスを行うことで、早期割引を活用し、修繕費用を抑える。</p> <p>③ 操業日及び操業時間を見直すことで、燃油消費量を抑える。</p> <p>④ 漁船の機関換装等に漁業近代化資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>⑤ 西三河、衣崎、吉田漁協は、海苔網の保存のための冷蔵庫の建設を行う。</p> <p>【VIIうなぎ養殖】</p> <p>① 引き続き、ボイラー清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、加工施設で製造した鰻製品の貯蔵に使用している冷凍庫の建て替えを検討し、必要ならば設計を行う。</p> <p>これらの取組みにより、基準年に対し0.6%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>地場産業振興対策事業（I-①）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（I-①）</p> <p>愛知県水産業振興基金助成事業（I-②）</p> <p>6次産業化推進整備事業（I-③、IV-①）</p> <p>内水面振興対策事業（III-②）</p> <p>漁業近代化資金利子補給事業（III-③、VI-④）</p> <p>水産業強化支援事業（V-①）</p>

4年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【Ⅰ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁】</p> <p>① アサリの漁業者団体は、引き続きアサリ稚貝の漁場への早期の移植放流及び漁場環境の整備を行うことで、早期の資源の復活を目指す。</p> <p>② 吉田漁協は、新たな二枚貝資源としてハマグリの子苗生産試験を引き続き行う。試験的に生産した種苗を放流し、その後の生残、成長を調査する。同時にアサリの漁業者団体は、ハマグリの子貝場としての保護区を設け、密漁監視を引き続き行う。また、吉田漁協は種苗生産施設建設について設計する。</p> <p>③ 西尾市管内の漁協は、バカガイについてこれまでのPRを踏まえ、仲買人と共に名古屋市中央卸売市場への浸透を図る。また、バカガイの加工について検討する。また、加工場について設計する。</p> <p>【Ⅱ海苔養殖】</p> <p>① 西三河、衣崎、吉田漁協は、引き続き海苔共同加工乾燥工場の運営を行う。</p> <p>② 西三河、衣崎、吉田漁協は、黒海苔養殖時期外の収入増として、青海苔、アオサ養殖を行う。</p> <p>【Ⅲうなぎ養殖】</p> <p>① 一色うなぎ漁協は、引き続きうなぎレストランの運営、「一色産うなぎ」の消費拡大及びPRに努める。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、養鰻水道について年次計画に沿って改修工事を行う。</p> <p>③ シラスウナギの購入に、漁業近代化資金を利用し、利子補給を受け、安定的に池入れする。</p> <p>【Ⅳ未利用資源の活用】</p> <p>① 西三河漁協は、引き続きアカモクのPR活動及び商品開発を行い、加工場の建設について決定し、必要ならば設計する。</p> <p>【Ⅴ市場再編】</p> <p>① 西尾市管内の漁協は、水産物の単価上昇のため、市場再編を行う。</p> <p>これらの取組みにより、基準年の漁業収入に対し、0.6%の向上を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【Ⅵ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁、海苔養殖】</p> <p>① 引き続き、船底清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>② 引き続き、漁期前に機器のメンテナンスを行うことで、早期割引</p>

	<p>を活用し、修繕費用を抑える。</p> <p>③ 操業日及び操業時間を見直すことで、燃油消費量を抑える。</p> <p>④ 漁船の機関換装等に漁業近代化資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>⑤ 海苔網保存のための冷蔵庫を稼働させ、老朽化した冷蔵庫を廃止もしくは撤去することで各組合のコスト削減を図る。</p> <p>【VIIうなぎ養殖】</p> <p>① 引き続き、ボイラー清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、昨年度に設計した冷凍庫の建設を行う。 これらの取組みにより、基準年に対して0.8%のコスト削減を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>地場産業振興対策事業（I-①）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（I-①）</p> <p>愛知県水産業振興基金助成事業（I-②）</p> <p>6次産業化推進整備事業（I-③、IV-①）</p> <p>内水面振興対策事業（III-②）</p> <p>漁業近代化資金利子補給事業（III-③、VI-④）</p> <p>水産業強化支援事業（V-①）</p>

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【Ⅰ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁】</p> <p>① アサリの漁業者団体は、引き続きアサリ稚貝の漁場への早期の移植放流及び漁場環境の整備を行うことで、早期の資源の復活を目指す。</p> <p>② 吉田漁協は、新たな二枚貝資源としてハマグリ種の種苗生産試験を引き続き行う。試験的に生産した種苗を放流し、その後の生残、成長を調査する。同時にアサリの漁業者団体は、ハマグリ種の母貝場としての保護区を設け、密漁監視を引き続き行う。また、吉田漁協はハマグリ種苗生産施設の建設を行う。</p> <p>③ 西尾市管内の漁協は、バカガイについてこれまでのPRを踏まえ、仲買人と共に名古屋市中央卸売市場への浸透を図る。また、バカガイの加工について検討する。また、加工場について建設する。</p> <p>【Ⅱ海苔養殖】</p> <p>① 西三河、衣崎、吉田漁協は、引き続き海苔共同加工乾燥工場の運営を行う。</p> <p>② 西三河、衣崎、吉田漁協は、引き続き黒海苔養殖時期外の収入増として、青海苔、アオサ養殖を行う。</p> <p>【Ⅲうなぎ養殖】</p> <p>① 一色うなぎ漁協は、引き続きうなぎ食堂の運営、「一色産うなぎ」の消費拡大及びPRに努める。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、養鰻水道について年次計画に沿って改修工事を行う。</p> <p>③ シラスウナギの購入に、漁業近代化資金を利用し、利子補給を受け、安定的に池入れする。</p> <p>【Ⅳ未利用資源の活用】</p> <p>① 西三河漁協は、引き続きアカモクのPR活動を行い、加工場の建設を行う。</p> <p>【Ⅴ市場再編】</p> <p>① 西尾市管内の漁協は、水産物の単価上昇のため、引き続き、市場再編を行う。</p> <p>これらの取組みにより、基準年の漁業収入に対し、0.75%の向上を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【Ⅵ小型底びき網漁業や採貝漁業等のアサリ漁、海苔養殖】</p> <p>① 引き続き、船底清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>② 引き続き、漁期前に機器のメンテナンスを行うことで、早期割引</p>

	<p>を活用し、修繕費用を抑える。</p> <p>③ 操業日及び操業時間を見直すことで、燃油消費量を抑える。</p> <p>④ 漁船の機関換装等に漁業近代化資金を利用し、省エネ機器等の導入を推奨する。</p> <p>【VIIうなぎ養殖】</p> <p>① 引き続き、ボイラー清掃を定期的に行うことにより燃費効率を高める。</p> <p>② 一色うなぎ漁協は、昨年度に建設した冷凍庫を稼働させる。これらの取組みにより、基準年に対して1.0%のコスト削減を目指す。</p>
活用する支援措置等	<p>地場産業振興対策事業（I-①）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（I-①）</p> <p>愛知県水産産業振興基金助成事業（I-②）</p> <p>6次産業化推進整備事業（I-③、IV-①）</p> <p>内水面振興対策事業（III-②）</p> <p>漁業近代化資金利子補給事業（III-③、VI-④）</p> <p>水産産業強化支援事業（V-①）</p>

(4) 関係機関との連携

行政（愛知県農林水産部水産課、愛知県建設部河川港湾課）、普及（愛知県西三河農林水産事務所水産課）、研究機関（愛知県水産試験場）や愛知県漁業協同組合連合会、愛知県信用漁業協同組合連合会と連携を図り、問題解決に向けた取り組みを実施していくと共に六次産業化やブランド力アップ等のため、商工観光の関係機関との連携を図っていく。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	過去 年間の中 平均：漁業所得	千
	目標年	平成 年度：漁業所得	千
		円	
		円	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
地場産業振興事業 (西尾市)	アサリ資源の保護育成のため、アサリ種苗の適地漁場への放流に対する補助 (西三河、衣崎、吉田、幡豆、東幡豆漁協)
水産多面的機能発揮対策事業	干潟保全、藻場造成及び干潟耕耘等に対する補助及び有害生物の駆除に対する補助 (西三河、衣崎、吉田、幡豆、東幡豆漁協)
愛知県水産業振興基金助成事業	ハマグリ種苗生産に対する補助 (吉田漁協)
6次産業化推進整備事業	地元で獲れる魚介類の高付加価値化及び未利用資源を利用した水産加工物の商品化 (全漁協)
農山漁村活性化整備対策事業	うなぎレストラン建設に対する補助 (一色うなぎ漁協)
農泊推進対策事業	一色漁港や佐久島のモニターツアーや一色産うなぎを使った商品開発に対する補助 (一色うなぎ漁協)
内水面振興対策事業 (西尾市)	うなぎ養殖に必要な矢作川表流水を送水する養鰻水道の布設替に対する補助 (一色うなぎ漁協)
漁業近代化資金等利子補給事業	漁業近代化資金借入金の利子に対する補助 (全漁協)
水産業強化支援事業	海苔加工乾燥工場及び冷蔵庫の整備に対する補助 (西三河、衣崎、吉田、一色うなぎ漁協)

参考＜各取組の概要＞

	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
アサリ	<ul style="list-style-type: none"> ・稚貝放流 ・漁場環境整備 	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・稚貝放流 ・漁場環境整備
ハマグリ	<ul style="list-style-type: none"> ・試験的な種苗生産や稚貝放流 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗生産施設の計画 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・試験的な種苗生産や稚貝放流 ・種苗生産施設の建設
バカガイ	<ul style="list-style-type: none"> ・付加価値化の検討 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・加工場の建設計画 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・付加価値化の検討 ・加工場の建設
海苔	<ul style="list-style-type: none"> ・協業化の検討 ・試験的な青海苔養殖 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同加工乾燥工場の設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同加工乾燥工場の建設 ・試験的なアオサ・青海苔養殖 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同加工乾燥工場の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同加工乾燥工場の運営 ・試験的なアオサ・青海苔養殖
うなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・うなぎレストランの建設 ・養鰻水道の布設替 	<ul style="list-style-type: none"> ・うなぎレストランの運営及び地域の活性化 	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・うなぎレストランの運営及び地域の活性化 ・養鰻水道の布設替
アカモク	<ul style="list-style-type: none"> ・商品化・PR 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・加工場の建設計画 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・商品化・PR ・加工場の建設
市場再編			<ul style="list-style-type: none"> ・市場再編の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場再編の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場再編の実施
船底清掃、ボイラー清掃、資金	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に実施 	→		→	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に実施
冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・共同冷蔵庫建設の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同冷蔵庫の設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同冷蔵庫の建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫の稼働 ・既設冷蔵庫の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設冷蔵庫の撤廃
冷凍庫			<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫建設の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍庫の稼働